



温故知新

先日あるお葬式にいきました。そのお葬式にはすごくビックリさせられました。まずは花の数！会場の中にも入りきらず駐車場を囲むぐらいの花が飾ってありました。こんなにたくさんのお花を見たのは初めてでした。大変なところに来ちゃったな…と思いながら、恐る恐るの中に入ると…これまたすごい数の人…。さらに式が終わると「故人が好きだった曲です」といって来場者が退場するときにお葬式らしくない曲が流れ、出口には故人の写りがたくさん貼ってあって、「故人との思い出を懐かしんでください。」とアナウンスが流れました。皆さんはこんなお葬式どう思いますか？私はすごく感動してしまいました。形式にとらわれず、来場者と故人の最後のお別れの場をこんなかたちで演出できるなんて…。私は故人のお子さんと知り合っていたので、列席させていただいたのですが、初め

てあう故人にすごく親近感がわき、家族で映っている写真を見ると、なぜだかすごく温かい気分になりました。こういったことをすると「非常識だ！」と非難される方もいるかもしれませんが、私のお葬式はこんな風に行ってほしいです。ただ悲しみの中でお別れをしてもらうのではなく、好きな歌をジャンジャンかけて、たくさんのお写真を貼って、来場者同士で思い出話をしてもらって…。そんな光景を空の上から見たら幸せだな～なんて感じました。最近では結婚式も仲人がいなくなったり、それこそ結納をする人もだいぶ減ったと聞きました。時代と共に色々変化をしているんだな～なんて感じました。でも温故知新ではないのですが、全てを変えてしまうのは残念な気がします。今まで何十年、何百年と続いてきた文化があつという間に消え去ってしまうのは、やっぱり悲しいで



あつという間に
お盆休みが終わって
しまいました…。

す。と言うものの、着物はほとんど着なくなってしまったし、家からは量がなくなってしまいました。知らない間に自分の周りでも大きな変化が続いています。でもやっぱり節目には着物が似合うし、畳に座ると落ち着くし、お寺に行くとき「風流だな～」なんて感じてしまいます…。大切な文化が消え行く中でも、やっぱり心は日本人だな～なんて感じました。ちなみに…私はお米が大好きです。パンはあまり食べないんです…。なぜって、日本人ですから（えっへん！）



喜んでもらえるかな？のコーナー！

先日大久保さんが「感謝の気持ちを形にしたい」ということで、木を作りました。……何のことだか、わかりませんよね？これは感謝したい時やうれしいことがあった時にメッセージカードを書こう！というものです。そして、ただメッセージカードを書くだけでなく、それを張り出して、多くの人達に見てもらいたい…という思いから、メッセージカードを葉っぱの形にして、張り出すことにしました。ピー

紙に大きな木の幹を書いてそこにメッセージカードをいっぱい張っていこう！というものです。1年後にはその木にたくさんの葉っぱがついて、感謝の気持ちが形になる…というものです。う～ん、イメージできましたか？言葉で書くのって難しいですね…。もしわからなければ、お店に来てくださいね！（それが貼ってあるのは2階の事務所ですが…）その木をあえて応接間に張り出し、来客した人に

見てもらおう！と言っていました。最初は恥ずかしいな…と思っていたのですが、「これが中部ビジネスの財産だから…」と聞いて、なんだか自信が湧いてきました。お客様だけでなく、社内の人、家族や友人にも感謝できるのが中部ビジネスだと思います。そんな心を忘れないように…ということなのかな？早く葉っぱがたくさんついて、緑一色になるといいな～。

みんなのひとり言

今月は大久保さん(Jr.さん)と鈴木さんの主張です。「もう2度とロッテリアに騙されるものか！」ですって。この二人が主張しているのは最近ロッテリアから発売された「絶妙」バーガーのことです。前回の「絶品」バーガーに続く第2弾です。前回の「絶品」バーガーのときは値段はそこそこ高いのに、ハンバーガーの小ささに憤慨していた二人…。そんな失敗から「もう買わない…」と主張しているのです。でも私の予想では、少なくともJr.さんは買うと思います…。だってハンバーガーが大好きだもん！そして「チクショ～また騙された！」というに決まっています…。さあその日はいつかな（笑）

今月の格言！

人に与えることのできるものと
できないものがある

(リチャード・エバンズ)

人に与えられるものって何が
あるだろう…私は何をもらって
きたのだろう…。これから
何を与えられるだろう…